



山本 健慈

Kenji Yamamoto

1948年、山口県生まれ。京大教育卒、同院博士課程単位取得退学。専攻は社会教育・生涯学習論、子育て支援システム論。2009年から学長。文部科学省中央教育審議会臨時委員（生涯学習分科会）

和歌山大学は、 学生(卒業生を含む)の人生を応援し、 地域を支える大学を目指しています

和歌山大学は、1949年（昭和24年）5月、和歌山師範学校（男子部・女子部）、和歌山青年師範学校及び和歌山経済専門学校を包括し、学芸学部（現・教育学部）・経済学部の2学部をもって発足しました。1995年（平成7年）10月にシステム工学部を開設、2004年には法人化により国立大学法人和歌山大学となり、その後2008年（平成20年）4月には、経済学部観光学科を母体に観光学部を設置し、現在は、4学部4大学院研究科（システム工学研究科及び観光学研究科は博士課程）からなる中規模総合大学となっています。

また、2014年4月には観光学研究科に博士課程を開設し、学士課程から大学院博士課程までの観光学教育によって、深く多様な学識と鋭い現実分析の方法をもつ観光立国日本を担う人材を養成する唯一の国立大学となりました。

法人化後10年が経過し、現在は第2期（2010年～2015年）中期目標・中期計画に基づいて運営しています。

第2期中期目標の〈基本的な目標〉は以下のとおりです。

和歌山大学は、高野・熊野世界文化遺産など豊かな歴史と環境に育まれた和歌山県唯一の国立総合大学として「地域を支え、地域に支えられる大学」であるとともに、持続可能な社会の実現に寄与することを宣言します。

その実現のため、3つの基本目標を掲げます。

- ① 和歌山大学は、現代の学生の、青年期に至る人間形成上の諸課題を深く認識し、教養教育、専門教育によって「生涯学習力」を培った市民・職業人として社会に参加し、その発展に寄与できる人間を育てます。
- ② 和歌山大学は、紀伊半島を含む黒潮文化圏という歴史、自然、経済、文化を活かした研究活動によって創造された知見を活かし、地域から日本と世界の発展に寄与します。
- ③ 和歌山大学は、教員の多様な問題関心に基づく諸活動を尊重し、職員の主体的な職務遂行を支え、学生が高度な理論と実践力を修得するとともに「学生満足」が充足される大学生活を送ることができるよう支援を強化します。

また、教員・職員・学生相互の信頼関係のもとでの協働と参画を通じて、「自主・自律・共生の気風にあふれる大学」であることを目指します。

2013年（平成25年）5月には、第2期中期目標・中期計画の後半の諸課題を凝縮し、2015年3月までの達成を目指す8つの重点課題（23項目）を『和歌山大学8つの行動宣言2013～2015』*として公表し、さらなる発展を期しています。

また、2014年4月には『教育活動宣言』**を公表し、教職員が学生をどのように受け止め、学生の学びや人間としての成長のためにどのように教育・支援しているかという姿勢を表明しています。

本冊子が、皆様に和歌山大学をご理解していただく手がかりになれば幸いです。なお最新情報につきましては、和歌山大学ホームページ（<http://www.wakayama-u.ac.jp>）をご覧ください。

* P3～P4 参照 ** P6 参照